



ヨコハマ市民まち普請事業 令和7年度整備施設
キッチンを備えた多世代交流拠点
「二つ台みーとみーと」が完成！



保土ヶ谷区釜台町に、地域のシンボルとして親しまれてきた精肉店の空き店舗を改修した多世代交流拠点「二つ台みーとみーと」が、令和8年2月2日に完成しました。

近隣の横浜国立大学卒業生が立ち上げ、大学関係者も加わる市民グループによる提案がヨコハマ市民まち普請事業で採択され、地域イベント等に利用可能なスペースや、飲食店営業や菓子製造が可能な業務用キッチンが整備されました。

施設整備に先立ち、横浜国立大学と連携した地域課題実習の場として活用されている他、地域の病院とのコラボカフェ等幅広い連携も進んでいます。今後も、まちに新たな賑わいを生み出す開かれた拠点として運営していきます。



▲二つ台みーとみーと内部の様子
キッチンから生まれる活気がまちを彩っていく

二つ台みーとみーと

所在地：保土ヶ谷区釜台町44-13(JR・東急・相鉄新横浜線羽沢横浜国大駅から徒歩約13分)

営業時間：9:00～21:00(当日のイベント等により変動)

レンタル料金：1時間 1,000円(申込方法等、詳細は下記へお問合せください)

HP：<https://futatsudai-mtmt.com>

メールアドレス：futatsudai.mtmt@gmail.com

〈Instagram〉



〈公式LINE〉



裏面あり



GREEN X EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



整備のポイント

天井の塗装やタイル貼り、造作工事は地域住民や横浜国立大学の学生による DIY で実施することで、多様な人が関わり合いながら拠点を作り上げました。整備過程を地域に開いてマルシェ等を開催することにより、認知度向上と住民交流の新たな契機となりました。

建物は地域に親しまれてきた旧精肉店としての記憶を継承し、空間の中心にキッチンを配置するとともに、道路側には全面開放可能な建具を採用し、建物内の活動や賑わいが自然とまちにしみ出る構成としています。



住民や学生の手で DIY する様子(左)
まちに大きく開いた^{しきり}都戸(右)



① シェアキッチン

地域の方の「やってみたい!」「やりたい!」を実現できるチャレンジの場を提供。(上)

横浜国立大学の学生が様々な企画立案を行い、地域課題解決や地域交流を促進。夜間は学習塾に。(右)



② イベントスペース

子どもから大人まで楽しめるイベントを主催し、地域住民・団体への貸出しも行う。(上)



③ 学びの場

ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50 万円～500 万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

担当連絡先 都市整備局地域まちづくり課

[電話] 045-671-2679 [E-mail] tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp

令和8年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 中尾 光夫 Tel 045-671-2665



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

